

様式第 1 0

循環型社会形成推進地域計画改善計画書

地域名	構成市町村等名	計画期間	事業実施期間
熊谷市	熊谷市	平成 2 4 ~ 2 8 年度	平成 2 4 ~ 2 8 年度

1 目標の達成状況  
(ごみ処理)

指 標	現 状 (平成 年度)	目 標 (平成 年度) A	実 績 (平成 年度) B	実績B/ 目標A	
排出量	事業系 総排出量	t	t	t	%
	1 事業所当たりの排出量	t	t	t	%
	生活系 総排出量	t	t	t	%
	1 事業所当たりの排出量	kg/人	kg/人	kg/人	%
	合 計 事業系生活系総排出量合計	t	t	t	%
再生利用量	直接資源化量	t	t	t	%
	総資源化量	t	t	t	%
熱回収量	熱回収量 (年間の発電電力量)	MWh	MWh	MWh	
最終処分量	埋立最終処分量	t	t	t	%

※目標未達成の指標のみを記載

(生活排水処理)

指 標	現 状 (平成 2 3 年度)	目 標 (平成 2 8 年度) A	実 績 (平成 2 8 年度) B	実績B/ 目標A※ 3	
総人口					
公共下水道	汚水衛生処理人口	85,691	93,660	89,043	95.1%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	42.6%	47.1%	44.7%	46.7%
集落排水施設等	汚水衛生処理人口				
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率				
合併処理浄化槽等	汚水衛生処理人口				
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率				
未処理人口	汚水衛生未処理人口	58,274	45,251	49,611	109.6%

※目標未達成の指標のみを記載

## 2 目標が達成できなかった理由

公共下水道については、当初の計画より、整備が進捗しなかったことが影響していると考えられる。  
合併処理浄化槽については、転換のPR等の成果により、転換が進み、目標を達成したが、目標値を大きく上回ることができなかったの  
で、さらなる啓発が必要であると感じられた。

## 3 目標達成に向けた方策

目標達成年度 平成33年度まで  
合併処理浄化槽への転換をさらに促進させるため、浄化槽清掃業者による補助金のチラシ配布や班回覧等の実施を進めていく。また、ホ  
ームページや市報を積極的に活用し、合併処理浄化槽への転換のPRを進めていく。

(都道府県知事の所見)

熊谷市においては、依然として総人口の2割以上の未処理人口を抱えている。  
未処理人口を着実に減少させるため、引き続き上記の方策を強力に推進していくことが期待される。  
埼玉県生活排水処理施設整備構想の実現に向け、一層の努力をお願いしたい。